

資料一 5 用語解説集

【ア行】

ISO14001 (アイエスオー14001)

組織活動が環境に及ぼす影響を最小限にすることを目的に定められた環境に関する国際的な標準規格の1つ。1996年に発行されたISO14001には、組織活動や製品及びサービスの環境負荷の低減といった環境パフォーマンスの改善を実施する仕組みが継続的に改善されるシステム（環境マネジメントシステム）を構築するための要求事項が規定されている。

アイドリングストップ

自動車の駐・停車時における不必要なアイドリングを停止すること。大気汚染防止や騒音・悪臭防止とともに、地球温暖化の原因となる二酸化炭素の排出を大幅に抑制できる。

アジェンダ 21

平成4年（1992年）6月の「地球サミット」において、地球環境保全に対する諸国民の義務・権利を定めた「リオデジャネイロ宣言」が採択された。「アジェンダ 21」はこの理念が具体化された21世紀に向けた持続可能な開発の為の実際的な行動計画のことで、目的・対策・実施手段により構成され、各国政府・国際機関・NGO・地域ごとの各種団体・一般市民が一致協力して積極的行動をとれるような枠組みを提示している。

アンモニア性窒素

アンモニウムイオンで存在する窒素量を表したものです。蛋白質、尿素、尿酸などの有機性窒素が分解することにより生成するため、窒素系の汚染の状況を示す指標として用いられます。主な発生源は、し尿、生活排水、肥料、化学などの工場排水などです。アンモニア性窒素が多過ぎると、稲などの生育障害をきたし、また浄化処理においては塩素による減菌効果が低下するなどの問題が生じます。

生垣助成制度

健康で快適な生活環境の整備と緑化の推進のため、生垣を設置しようとする住民に対し、助成を行う制度を指す。

一般廃棄物

家庭から出るごみやし尿など産業廃棄物以外の廃棄物をいう。一般廃棄物は市町村が「一般廃棄物処理計画」を定めて処理する。

SS (Suspended Solid、エスエス)

水中の浮遊物質、懸濁物質の単位あたりの量を示し、濁りの指標である。自然界では、粘土粒子や微生物などがその由来となる。

エコドライブ

温室効果ガス排出量の削減を目的とした環境に配慮した自家用車使用のこと。やさしい発進や加減速の少ない運転、早目のアクセルオフ、エアコンの使用を控える、アイドリングストップなど。

エコファーマー

「持続性の高い農業生産方式の導入の促進に関する法律」に基づき、堆肥などを使った土づくりと化学肥料・化学農薬の使用の低減を一体的に行う農業者の愛称。環境保全型農業に取り組む農業者を支援するため、持続性の高い生産方式を導入する計画を立てた農業者を知事がエコファーマーとして認定する。

エコマーク商品

様々な商品（製品及びサービス）の中で、生産から廃棄にわたるライフサイクル全体を通して環境への負荷が少なく、環境保全に役立つと認められた商品であり、エコマークが付けられているもの。

NPO（Non-Profit Organization、エヌピーオー）

民間非営利組織。公益の増進に寄与する活動を行う、営利を目的としない民間組織。

MBAS（界面活性剤、Methyren Blue Active Substances）

合成界面活性剤の濃度を表したものです。ABS や LAS など、メチレンブルー（MB）という染料で着色する合成界面活性剤の濃度を計測するもので、石鹼は反応しない。

LCA（エルシーエー）

ライフサイクルアセスメント（Life Cycle Assessment）の略。製品やサービスの環境影響を評価する手法。製造、輸送、販売、使用、廃棄、再利用までの各段階の環境負荷を明らかにするもので、より環境負荷の少ない

製品製造・サービス提供に向けた意思決定を行うためのツールなどとして利用される。

援農ボランティア制度

農地の有効活用を図るとともに、住民の余暇の充実と農業への理解を深め、農業の振興を図ることを目的とした制度。農作物の栽培技術を習得しながら健康づくりを図りたいと考える方に援農ボランティアとして登録していただき、日々の農作業や農地管理に農業従事者の不足を感じている農家での農作業の手伝いを通じ、農業技術の習得や健康増進などの余暇の充実を図っていただくというもの。

オキシダント

大気中の窒素酸化物や炭素化合物が紫外線などによって複雑な化学変化を起こして生じた強い酸化性のある物質の総称。光化学スモッグの原因となり、動物の目や呼吸器を傷め、植物を枯らしたりするため社会的な問題を引き起こしている。構成成分は、オゾン、アルデヒド、アクロレイン、ペルオキシアセチルニトラートなど。

温室効果ガス

地球から宇宙に放射される赤外線を吸収する性質を持つガスのこと。人間活動の拡大に伴い、温室効果ガスの大気中濃度が上昇することにより、地球規模の気温の上昇、気候の変動などがもたらされる地球の温暖化が懸念されている。温室効果ガスとして、二酸化炭素（CO₂）、メタン（CH₄）などがある。

【力行】

外来種

他地域から人為的に持ち込まれた生物が、特に野生化して世代交代を繰り返すようになり、生態系に定着した動植物のことをいう。

家電リサイクル法

特定家庭用機器再商品化法。家電製品のリサイクルをメーカーに義務づけ、廃家電製品の再資源化を通して環境を保全することを目的として平成10年6月に公布された法律。対象商品はテレビ、冷蔵庫、洗濯機、エアコンの4品目で、平成16年4月から冷凍庫が追加された。

環境会計

企業などが環境に関する社会的責任を果たしつつ、環境保全活動を効果的・効率的に推進するため、環境負荷や環境保全の費用と効果を把握するための手法。

環境家計簿

毎日の生活の中で、環境に関係する行動を家計簿のように記録し、家庭からどれだけの環境負荷が発生しているかを、家計の収支計算のように行うもの。毎月使用する電気、ガス、水道、ガソリン、燃えるごみなどの量に係数を掛け、家庭から排出される二酸化炭素量を計算する形式が一般的。

環境基本法

日本の環境政策の根幹を定める基本法。環境の保全についての基本理念を定め、国、地方公共団体、事業者及び国民の責務を明らかにし、環境の保全に関する施策の基本となる事項を定めることにより、環境の保全に関す

る施策を総合的かつ計画的に推進し、現在及び将来の国民の健康で文化的な生活の確保に寄与するとともに人類の福祉に貢献することを目的とする。平成5年11月19日公布、施行。

環境ホルモン

環境中に放出、蓄積された、低濃度でホルモンに似た働きをしたり、ホルモンの働きや分泌量に影響を及ぼす化学物質の通称。内分泌かく乱化学物質ともいう。ダイオキシン、DDT、PCBなどが知られている。

環境マネジメントシステム

企業や団体などの組織が環境方針、目的・目標などを設定し、その達成に向けた取り組みを実施するための組織の計画・体制・プロセスなどのこと。国際的な環境マネジメントシステム規格としてISO 14001がある。

かん養

雨や川の水などの地表水が帯水層に浸透し、地下水が供給されること。自然状態でのかん養量が少ない場合は、地盤沈下や湧水枯渇などの対策として、人為的にかん養を行う。

丘陵地景観基本軸

東京都景観条例及び景観づくり基本方針に基づいて定めたもの。東京と全体から見て景観の骨格となる地域を指定したもので、重点的に景観づくりを進めていく地域。

京都議定書

気候変動枠組条約に基づいて、平成9年12月に京都市で開かれた第3回気候変動枠組条約締約国会議（地球温暖化防止京都会議、

COP3)で議決した議定書。正式名称は、気候変動に関する国際連合枠組条約の京都議定書。

グリーンコンシューマー

通常商品より高額でも、エコマークなどのある商品や省エネ効率の高い商品を積極的に選択するなど、環境意識の高い消費者のこと。

グリーンマーク商品

古紙の回収・利用の促進を図るため、古紙を原料に利用した製品であることを容易に識別できる目印として、財団法人古紙再生促進センターが昭和56年5月に制定したマーク。

原則として古紙を40%以上利用した製品。ただしトイレットペーパーとちり紙の場合は100%、コピー用紙と新聞用紙の場合は50%以上利用したもの。

建設リサイクル法

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律。特定の建設資材について、分別解体など及び再資源化などを促進するための措置を講じるとともに、解体工事業者の登録制度を実施することなどにより、資源の有効な利用の促進及び廃棄物の適正な処理を確保することを目的として平成12年5月に公布された法律。

小型家電リサイクル法

デジタルカメラやゲーム機などの使用済小型電子機器などの再資源化を促進するため、主務大臣による基本方針の策定及び再資源化事業計画の認定、当該認定を受けた再資

源化事業計画に従って行う事業についての廃棄物処理業の許可などに関する特例などについて定めた法律。

コージェネレーション

内燃機関、外燃機関などの排熱を利用して動力・温熱・冷熱を取り出し、総合エネルギー効率を高める、新しいエネルギー供給システムの1つ。

【サ行】

再生可能エネルギー

エネルギー供給事業者による非化石エネルギー源の利用及び化石エネルギー原料の有効な利用の促進に関する法律で「エネルギー源として持続的に利用することができる」と認められるもの」として、太陽光、風力、水力、地熱、太陽熱、大気中の熱その他の自然界に存する熱、バイオマスが規定されています。再生可能エネルギーは、資源が枯渇せず繰り返し使え、発電時や熱利用時に地球温暖化の原因となる二酸化炭素をほとんど排出しない。

残堀川水質調査会

立川市、武蔵村山市及び瑞穂町の3市町からなり、定期的に水質調査、生物調査を実施している。また、都に対する残堀川の改善要望などを行っている。

シールド（電磁シールド）

電磁波や磁気などに対する防護のこと。

資源物回収団体奨励事業

町内会、子ども会または任意の団体が、段ボール、新聞、雑誌などの資源物集団回収を行い、回収した量に対して、平成27年3月現在、1kgあたり10円の助成を行っている事業のこと

自動車リサイクル法

使用済自動車の再資源化等に関する法律。使用済自動車のリサイクルと適正処理において、自動車メーカー、輸入業者、販売者、解体業者など自動車関係業者の役割と義務を定め、また消費者にもリサイクル費用の支払いを義務づけ、廃棄物の削減、資源の有効利用、不法投棄の防止、環境保全をより一層進めようとすることを目的に平成17年1月に完全施行された法律。

循環型社会

①製品などが廃棄物になることが抑制される。②製品などが循環資源となる場合は適正に循環的な利用が行われる。③循環的な利用が行われない場合は適正に処分される。これらにより天然資源の消費を抑制し、環境への負荷ができる限り低減される社会のこと。

浄化槽（合併処理浄化槽、単独処理浄化槽）

し尿などを微生物の作用による腐敗または酸化分解などの方法によって処理し、公共用水域などに放流するための設備または施設。し尿のみを処理するものを単独処理浄化槽、し尿及び生活雑排水（風呂や台所の排水、洗濯排水など）を併せて処理するものを合併処理浄化槽という。合併処理浄化槽は、単独浄化槽よりも水質汚濁物質の削減量が極め

て多く、比較的安価で容易に設置できるため、公共下水道未整備区域などでの生活排水処理の有力な方法となっている。

人材リスト（瑞穂町総合人材リスト）

瑞穂町の各地域で、多くの人々が互いに生涯学習活動やまちづくり活動を学びあえるよう、さまざまな知識や経験を持つ人材の情報を収集したリスト。

浸透トレンチ

降った雨をその場で地中へ浸透させることにより、流出抑制効果のみならず、地下に還元することにより都市の水循環の改善を目的とした施設で溝状のもの。

浸透ます

降った雨をその場で地中へ浸透させることにより、流出抑制効果のみならず、地下に還元することにより都市の水循環の改善を目的とした施設で枡状のもの。

3R（スリーアール）

環境と経済が両立した循環型社会を形成していくための3つの取り組み（リデュース、リユース、リサイクル）の頭文字をとったものです。リデュース（REDUCE）は、使用済みになったものが、なるべくごみとして廃棄されることが少なくなるように、ものを製造・加工・販売すること、リユース（REUSE）は、使用済みになっても、その中でもう一度使えるものはごみとして廃棄しないで再使用すること、リサイクル（RECYCLE）は、再使用ができずにまたは再使用された後に廃棄されたものでも、再生資源として再生利

用することで、リデュース、リユース、リサイクルの順番で取り組むことが求められています。

【夕行】

ダイオキシン類

ポリ塩化ジベンゾーパラジオキシン、ポリ塩化ジベンゾフラン及びコプラナーPCBの総称。塩素を含む物質を焼却することなどにより発生する。主に食べ物と飲み水から体内に取り込まれる。猛毒であり、発がん性や催奇形性が強いとされ、環境ホルモンとしての作用もある化学物質。

地球サミット

平成4年6月5日を含む2週間、ブラジルで開催された環境と開発に関する国連会議のこと。会議では、国連人間環境会議（昭和47年）以降の世界の取り組みや環境の推移をふり返るとともに、今後の開発と環境保全との調和をはかるための理念と原則を示した「リオデジャネイロ宣言」と地球環境の保全に向けての国際社会における行動計画「アジェンダ21」などが採択された。

低公害車

大気汚染物質の排出や騒音の発生が少ない、従来の自動車よりも環境への負荷が少ない自動車の総称。電気、太陽光、エタノールなどを動力源とする車が開発されている。

低周波公害

人の耳に聞こえない低い周波数の空気振動による公害。人が聞くことのできる音の周

波数は20～2万Hzであり、これより低い周波数の空気振動は頭痛・めまいなど、人体に悪影響を及ぼす。高速道路や新幹線、航空機、町工場の機械などで発生する。

出前講座

瑞穂町生涯学習まちづくり出前講座。ボランティア講師による各種講座の開設や、町が実施している施策の説明など、いつでもどこでも気軽に学習できる機会を提供し、協働して生涯学習によるまちづくりを推進していくもの。

電磁波

空間の電場と磁場の変化によって形成された波動のこと。電界と磁界がお互いの電磁誘導によって交互に相手を発生させあうことで、空間そのものが振動する状態が生まれ、この電磁場の周期的な変動が周囲の空間に横波となって伝播していく、エネルギーの放射現象の一種。

土地区画整理事業

土地区画整理法（昭和29年法律第119号）により、都市計画区域内の土地について公共施設の整備改善及び宅地の利用の増進を図るために行われる、土地の区画形質の変更及び公共施設の新設または変更に関する事業。主に災害復興や駅前整備、郊外の宅地造成などの活用実績がある。

【ナ行】

ノーカーデー

二酸化炭素の排出や大気汚染といった環

境問題に対し、毎日の自家用車利用を見直した取り組みの1つ。バス・電車などの公共交通機関や自転車などを代用することで、自家用車を利用しない日を設けること。

ノーマライゼーション

障がいのある人も健常者も一緒に地域で生活することが正常な状況であるとする考えのこと。障がい者を地域的、社会的に隔離せず、同じ社会で生活することのできる社会形成を目指す発想。

ノー（NO）レジ袋・マイバッグ運動

循環型社会の実現に向け、住民、事業者の協力を得て、ごみの減量と地球資源の節約のための取り組み。消費行動からごみに対する意識、環境意識を持ち、マイバッグを持って出かけ、余計なレジ袋をもらわない、環境にやさしいライフスタイルを構築するための運動。

ノルマルヘキサン抽出物質

ノルマルヘキサンにより抽出される不揮発性物質の総称です。水中の油分を表すものとして用いられますが、ヘキサンにより抽出されるものは、油分以外に農薬、染料、フェノールなどがあります。油分は直接及び間接に魚介類の死を引き起こすとともに、魚介類に着臭します。

【八行】

ハイブリッド車

内燃機関エンジンと電池との両方を組み合わせ、双方の利点を生かして全体のエネルギー

効率を向上させた自動車を目指す。省エネルギー効果があるほか、NO_x や黒煙の排出も低減されるという特徴がある。

花植え運動

環境美化を目的とし、町内会や児童達の手によって公園や通り沿いに色とりどりの花を植える運動。

バリアフリー（Barrier-free）

障がい者や高齢者などの生活や活動を妨げるような、ハード面、ソフト面での障壁（バリア）を取り除くこと。

バリアフリー新法

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律。ハートビル法（高齢者、身体障害者等が円滑に利用できる特定建築物の建築の促進に関する法律、平成6年法律第44号）と交通バリアフリー法（高齢者、身体障害者等の公共交通機関を利用した移動の円滑化の促進に関する法律、平成12年法律第68号）を統合した法律。

PRTR制度（ピーアールティーアール制度）

有害性が疑われる化学物質が、どこから、どのくらい、環境（大気・水域・土壌など）中へ排出されているか、廃棄物などとして移動しているかを把握し、集計・公表する仕組み。

BOD（ビーオーディー）

生物化学的酸素要求量。水中の有機物などの量を、その酸化分解のために微生物が必要とする酸素の量で表したものであり、特定の物質を示すものではない。一般に、BODの

値が大きいほど、その水質は悪いと言える。

とめたもの。

PCリサイクル法（ピーシーリサイクル法）

資源の有効な利用の促進に関する法律。不要になったパソコンやモニターの回収と再資源化をメーカーに義務づける法律。当初は企業や個人事業者で不要になったパソコンが対象だったが、平成 15 年 10 月の省令改正により、家庭用パソコンも対象に含まれた。メーカーに自社製品を回収させることにより、部品や材料の再資源化を加速することを狙う。

ヒートポンプ

外部から電気・熱などの駆動エネルギーを与え、低い温度の部分から温度の高い部分へ熱を移動させる装置のこと。

光害（ひかりがい）

ネオンや街灯の光により、夜間に星がよく見えなくなるなどの影響が出ることをいう。大気汚染や水質汚濁などの典型 7 公害とは異なり、人の健康に影響が出るなど、必ずしも不快感をもたらすものではない。しかし、必要以上の照明はエネルギーを浪費するだけでなく、天体観測を困難にし、また夜間の過剰な照明による動植物への影響も懸念される。

光害対策ガイドライン

光害問題について、良好な大気生活環境保全上の観点から捉え直すとともに、国際照明委員会、国際天文学連合などのガイドライン策定の動きに対し、国際的整合を図ることを考慮しつつ平成 10 年 3 月に環境省がとりま

不老川流域対策推進協議会

不老川流域の川越市、所沢市、狭山市、入間市、瑞穂町の 4 市 1 町が、流域内の急激な都市化と近年の異常気象に伴う降雨への対応として、雨水対策などを推進していくための組織。雨水、治水対策として、各戸への雨水浸透マスの設置や公共施設での雨水の貯留の推進、関係機関への要望活動などを実施。

フロン

クロロフルオロカーボン（炭素、フッ素、塩素の化合物）の通称。化成的に安定しており人体に無害であるが、成層圏に達すると強い太陽光線で分解された塩素原子を放出し、オゾン層を破壊する。その結果、地上に到達する紫外線量が増加し、皮膚がんの増加や異常気象をもたらすおそれがある。

ペースメーカー

一般的に、心臓に対する電気刺激発生装置のことで、バッテリーと IC を含む本体部分とリード線から成るシステムの総称。

pH（ペーハー、ピーエイチ）

物質の酸性、アルカリ性の度合いを示す数値であり、水素イオン濃度指数とも言う。一般的に、水溶液中での値を指し、pH=7 が中性、pH<7 は酸性、pH>7 はアルカリ性である。pH 値が小さいほど酸性が強く、逆に pH 値が大きいほどアルカリ性が強い。

ポケットパーク

道路わきや街区内の空き地などわずかの土地を利用した小さな公園または休憩所。

ボトルネック

システム設計上の制約の概念であり、英語の「瓶の首」の意味。ここでは交通量に対して道が細く、渋滞などの原因となっている箇所のことを指している。

【マ行】

マニフェスト制度

産業廃棄物の適正な処理を推進する目的で定められた制度。マニフェスト伝票を用いて廃棄物処理の流れを確認できるようにし、不法投棄などを未然に防ぐためのもの。

みずほエコパーク

町民の健康を増進し、リサイクルと環境学習を推進することを目的として設置された公園で、生態や環境を学ぶことを意味するエコロジーとのかかわりが深いことから、名称をエコパークとした。ウッドチップ散策路やドッグランがあり、定期的にフリーマーケットの開催も行っている。

瑞穂町宅地開発等指導要綱

町における無秩序な宅地開発などを防止し、良好な市街地の造成を図るため、開発行為などを行う事業主に対して協力と応分の負担を要請し、公共・公益施設の整備を促進し、緑豊かな自然と都市機能が調和した快適な生活環境の実現を図ることを目的とした要綱。

緑の基金

緑地の保全及び緑化の推進に必要な資金

に充てるため、条例（瑞穂町緑の基金条例）により設置された基金。

木質バイオマス

バイオマスは、特定の時点にある空間に存在する生物の量を物質質量として表現したものであり、生物由来の資源を指すこともある。バイオマスを用いた燃料は、バイオ燃料などと呼ばれるが、このうち剪定枝など、エネルギー生産に向けられる枝条、梢端、市場価値の無い幹などを含み、樹木の全部またはその一部をチップなどとして得られる木質産物のこと。

【ヤ行】

ユニバーサルデザイン

文化や言語、国籍の違い、老若男女といった差異や、障害、能力の如何を問わずに利用することができる施設・製品・情報の設計（デザイン）のことをいう。対象を障がい者に限定しない点で、バリアフリーとは異なる。

【ラ行】

ライフライン

電気・ガス・水道などの公共公益設備や電話やインターネットなどの通信設備、圏内外に各種物品を搬出入する運送や人の移動に用いる鉄道などの物流機関など、都市機能を維持し人々が日常生活を送る上で必須の諸設備のこと。

リターナブル製品

一度使った容器などを回収し、洗浄した後もう一度使えるようにするもので、それらの容器を利用している製品。ビール瓶や一升瓶など。

リユース

一度使用したものをそのままの形で再び使用することであり、日本語では再使用のこと。